

○「地域の課題解決を目指したスローガンの設定」

(京都府船井郡京丹波町丹波地区連絡会議)(第4回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化遊休農地の
発生防止・
解消新規参入の
促進その他
(地域内の課題とス
ローガンの設定)

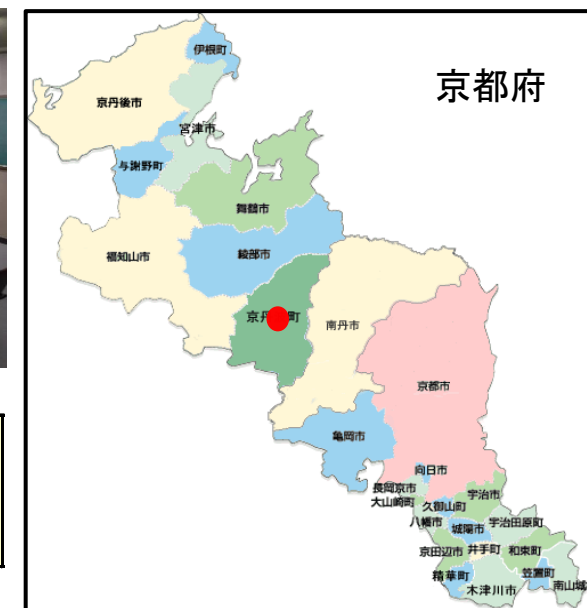
1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年6月18日
- 場 所: 京丹波町中央公民館
- 出席者: 農業委員・最適化推進委員15人
委員以外3人
- 報告者: 塩 貝 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

- 京丹波町の中心地域にあり、役場、京都縦貫道路のインターと合わせて道の駅がある
- 中山間に位置づけられる農地もあるが中心地域は平坦でほ場整備された良い農地が展開



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

○丹波地区連絡会議の集落単位での現状と課題の報告

- ・農業法人や規模が大きい経営を行っている個人の担い手が活躍している集落は農地の管理も施設の管理も行き届いている
- ・現在使用している農機具が使用できる間が経営継続の限界
- ・ほ場整備済田でも中山間に位置する農地では獣害や都会で生活する所有者の農地は荒廃

○今回の意見を踏まえ農地利用の最適化を目指し、スローガンとして意識付けを図る「遊休農地の発生防止」

○最適化推進委員による地区連絡会議を毎月開催し議論を深め農地利用、担いて対策など解決策を探る

4 活動結果

- 情報・意見交換 2 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援